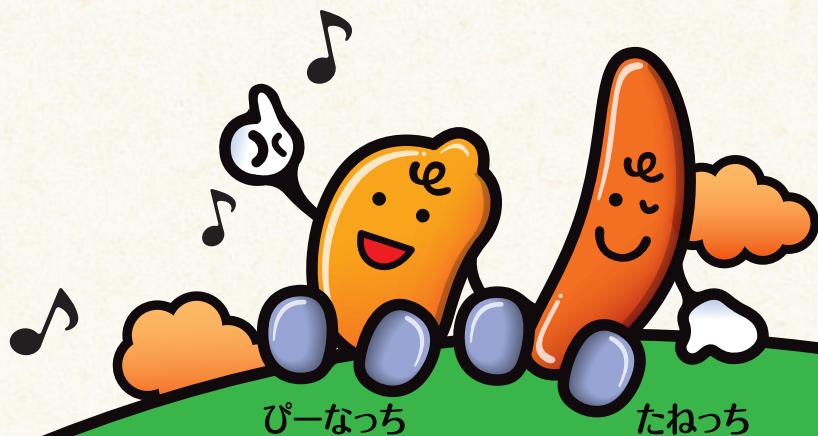




# 第64期 株主通信

中間 2020年4月1日▷▷2020年9月30日





# 株主の皆様へ

## 足元の環境変化を踏まえ、中長期視点での構造改革



代表取締役会長 CEO  
田中通泰

代表取締役社長 COO  
佐藤 勇

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当グループは長期ビジョン「グローバル・フード・カンパニー」の実現を通じた持続的な成長を目指し、2023年度までの中期経営計画「Changing gears 2023」の実行に取り組んでいます。

国内米菓事業は圧倒的No.1の地位を強固にするため収益基盤を強化すること、海外事業は北米子会社の安定的な利益確保と黒字化に向けた道筋をつけること、食品事業はプラントベースドフードの拡大を通じて売上成長することを重点施策として取り組みを進めています。

2020年度上期は、国内米菓事業ではコロナ禍による巣ごもり需要の増加へ応えるため、商品アイテム数を抑制し、主力商品の製造販売に集中化するなどの対策を講じました。一方で、百貨店向けや土産物を扱う子会社については厳しい状況が継続しています。

なお、中長期的なブランド育成の観点から、「亀田の柿の種」については、昨年実施した国民投票を通じていただいたお客様の声を商品に反映させるべく、約40年ぶりに柿の種とピーナッツの比率を変更しました。

海外事業では、新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウン発令等により、一時的に操業停止等を余儀なくされましたが、主要拠点と位置付ける北米のMary's Gone Crackers, Inc.については、家庭内消費と備蓄需要の増加により、安定した業績を確保しています。



# を実行してまいります。

また、アジア市場ではクロスボーダー取引の新たな拠点として、タイで同様のビジネスを展開する Singha Corporation Co., Ltd.と共同で輸出向け米菓製造販売の合併事業を開始しました。

食品事業では、個人消費を中心に備蓄需要が拡大し、長期保存ができるアルファ米やロングライフのアレルゲンフリー玄米パンなどが好調に推移しました。

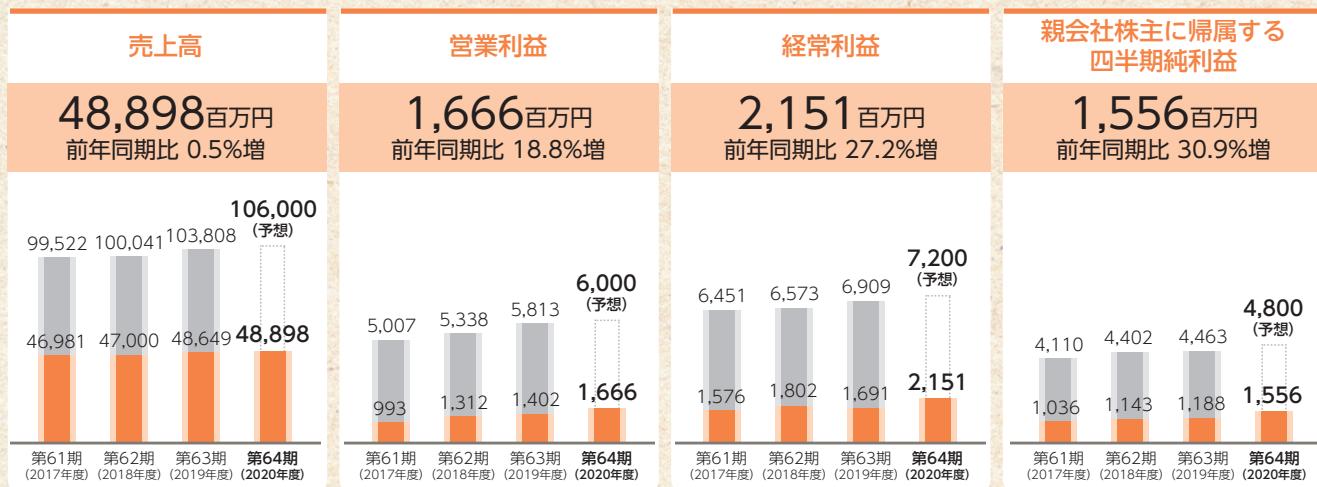
これらの取り組みの結果、連結業績は増収増益を確保することができました。(詳細はP3～P4をご参照ください。)

当グループは、国内米菓事業、海外事業、食品事業の三本柱でしっかりと立ち、特長あるグローバル企業としてビジョンの実現を目指しています。そして、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、お客様の行動様式の変化など、環境変化に対する打ち手を講じつつ、引き続き、中長期視点での構造改革を実行し、スピードを上げて持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 連結業績ハイライト (第2四半期)

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)





# 事業別概況

## 国内米菓事業

売上高構成比率  
**78.7%**

前年同期比

売上高 **38,491** 百万円 (1.9%減 ↘)

営業利益 **1,323** 百万円 (30.1%減 ↘)

営業利益率 **3.4%**



- 上期の概況
- 売上高は、「手塩屋」等の積極的な販売促進活動が一巡したものの、コロナ禍による家飲み需要の拡大を受け「亀田の柿の種」「つまみ種」等のおつまみ系商品が伸長しました。
  - 営業利益は、主力商品に製造販売を集中化しコロナ禍による巣ごもり需要への対応を図りましたが、外出自粛や移動制限等の影響を受け、百貨店向けや土産物を扱う子会社の収益減少を補うには至らず、減益となりました。

## 海外事業

売上高構成比率  
**8.4%**

前年同期比

売上高 **4,093** 百万円 (10.4%増 ↗)

営業利益 **△44** 百万円 (ー)

※「海外事業」は、海外子会社に加え、国内の輸出入取引を含んでいます。



- 上期の概況
- 北米市場においては、Mary's Gone Crackers, Inc.がこれまで講じてきた新規取引先および販売エリアの拡大効果や、家庭内消費と備蓄需要の増加に加え、製造原価率の低減に取り組んだ結果、増収増益となりました。
  - アジア市場においては、タイにおいてクロスボーダービジネスの拠点再編に向け合弁会社を設立、カンボジアは豪州ペプシコ向けOEM事業が好調に推移、中国ではコロナ禍による国内販売の減少をカバーするため輸出事業の強化に取り組みました。



## 食品事業

売上高構成比率  
6.2%

	前年同期比
売上高	3,012百万円 (39.3%増 ↗)
営業利益	272百万円 (ー)
営業利益率	9.1%

※[食品事業]の主な内容は、長期保存食や植物性乳酸菌に加え、玄米パン、プラントベースドフード等です。



- 上期の概況
- 長期保存食を扱う尾西食品は、コロナ禍により個人の備蓄需要が増加したことを受け、増収増益となりました。加えて長期保存食の品揃え強化、一部商品の賞味期限延長を図りました。
  - プラントベースドフードを扱うマイセンおよびマイセンファインフードは、ロングライフのアレルゲンフリー玄米パンなどが好調に推移しています。

## その他

売上高構成比率  
6.7%

	前年同期比
売上高	3,301百万円 (6.9%減 ↘)
営業利益	114百万円 (70.8%増 ↗)
営業利益率	3.5%

※[その他]の主な内容は、貨物輸送等です。



- 上期の概況
- 巣ごもり需要によってグループ内の米菓輸送は増加した一方、コロナ禍により外部企業の物量が減少した結果、減収となりました。
  - 営業利益は、減収影響はあったものの、燃料の単価安および効率的な人員配置等を行った結果、増益となりました。



## 国内米菓事業

新商品情報

### 「玄米ちっぷパリッカ ハーブソルト味」

2020年8月発売

毎日忙しい女性が「じぶん時間」に食べて、小腹だけでなく、ホッと心も満たされるような商品を提供したいという思いで開発しました。

焙煎玄米粉を練り込んだ生地を薄く延ばすことで、まるでスナックのようなパリッとした軽く香ばしい食感を実現しました。

サイズ感も、女性がつまんで一口で食べることのできる大きさにこだわりました。



3種のハーブ(オレガノ・タイム・セロリシード)が織りなす豊かな香りが、リラックスクス・リフレッシュしたい時にぴったりです。

また、1個包装あたり46kcalなので罪悪感を感じることなくお召し上がりいただけます。



## 「亀田の柿の種」 新黄金バランス誕生 (柿の種とピーナッツの重量比率)

2019年10月から11月にかけて「当たり前を疑え！国民投票」として柿の種とピーナッツの比率について皆様に投票を募りました。その結果、25万票を超えるご投票をいただき「柿の種7：ピーナッツ3」が最も支持されました。

皆様の声を受け、新黄金バランスの商品化実現と販売開始を目指して2020年1月に「比率見直し委員会」を発足、品質に関する様々なテストを経て、2020年5月より、亀田の柿の種\*の、柿の種とピーナッツの比率を約40年続いた「6：4」から新黄金比率「7：3」へと変更しました。

※200g亀田の柿の種6袋詰



### 「活気の種」



みんなの笑顔が  
咲いたネガ



## 「デザインコンクール」開催！

いまの世の中に元気を届けるようなパッケージをお客様に自由にデザインしてもらい、Twitterに投稿してエントリーいただく「活気の種」デザインコンクールを開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言で在宅時間が増えた影響もあり、334作品もの活気あふれる個性豊かなパッケージデザインが集まり、優秀作品10作品を社内投票により決定しました。

とよす株式会社

新商品情報

## 「十火丸(maro) みかん・りんご」

2020年9月発売

柔らかく粘りとコシの強さが特徴のヒメノモチを用い、やさしく丁寧に煎り焼きすることで、ふんわりとした口どけを実現しました。みかんは愛媛県産みかんを使ったパウダーを使用し、甘みがありコクのある味わいに、りんごは青森県産ふじりんごの果汁を使ったパウダーを使用し、甘みと酸味のバランスがとれたフルーティーな味わいに仕上げました。





# トピックス

## 海外事業

### Singha Kameda (Thailand) Co., Ltd. (シンハーカメダ社) 設立



当社は世界的に広がる米菓需要に応えるための新たな拠点として、タイにおいてビールや飲食物品などの製造販売を行う

Singha Corporation Co., Ltd. (シンハーコーポレーション社) と共同でシンハーカメダ社を設立しました。

当社が持つ米菓関連製造技術および安全・安心な商品開発ノウハウと、シンハーコーポレーション社の持つ販売およびマーケティング機能を融合させることで、高品質かつコスト競争力を兼ね備えたグローバルな生産拠点として、米菓の輸出版売を行います。

## 食品事業

尾西食品株式会社

### 「米粉でつくったカレーうどん」

2020年4月発売

「米粉でつくったカレーうどん」は、原材料に小麦などのアレルギー物質28品目を不使用ながらも、スパイスの効いたスープとつるつるの米粉麺の組み合わせが味わえる本格的なカレーうどんです。

お湯を注いで7分、いざという時の非常食として製造から5年6カ月の長期保存に対応した商品です。

Mary's Gone Crackers, Inc. (MGC社)

### 「Real Thin Crackers」

2020年9月発売

新商品情報

米国でオーガニック・グルテンフリーをコンセプトとした商品を販売しているMGC社は、2020年9月に「Real Thin Crackers」の新商品を3品(チポトレ、トマトバジル、オリーブ&粗びき黒コショウ)発売しました。

スパイス・ハーブ系の味付けをラインアップに加えることで、若者需要の開拓を進めていきます。



チポトレ

トマトバジル

オリーブ&  
粗びき黒コショウ

新商品情報





## 新型コロナウイルス感染症への対応

### 医療従事者への支援

当社は新型コロナウイルス感染症の予防や治療にあたる医療従事者の方たちを「食」でサポートするプラットフォーム「WeSupport」の取り組みに賛同し、同プラットフォームを通じて当グループで製造販売する「米菓・おかゆ」を10,000個以上寄贈しました。

「WeSupport」は東京都・神奈川県に続き、8月から大阪府の病院への支援を開始しました。当社は「WeSupport」への支援を通じて医療従事者の方たちへのサポートを継続していきます。



### 新型コロナウイルス解析プロジェクトに参加

当社は、新型コロナウイルス感染症対策の一環と



して世界規模で活動している「新型コロナウイルス (COVID-19) タンパク質構造解析プロジェクト・Folding@home (FAH)」に参加しました。

FAHとは2000年よりスタンフォード大学を中心に開始された分散コンピューティングプロジェクトで、個人や企業が持つコンピューターを集めて演算能力を上げ、膨大なデータの計算に活用するものです。

当社は保有するWEBサービス用のリソースの一部をFAHプロジェクトの計算資源として提供しています。

## CSR活動

### フードバンクにいがたへの寄贈

子どもの貧困・食品ロスを減らすため、当社は2020年4月からフードバンクにいがた※への商品の寄贈を開始しました。フードバンクへの支援を通じて、ミッションとして掲げる、「人々の生活に喜びと潤いをお届けし、より豊かな社会に貢献する」ための活動を実践していきます。

※新潟県内の個人・行政機関・民間企業・農家・農業団体などの生産者から、賞味期限内でありながら廃棄される食品を寄贈してもらい、パーソナルサポート・センターや児童福祉施設、困窮者支援団体へ提供しています。



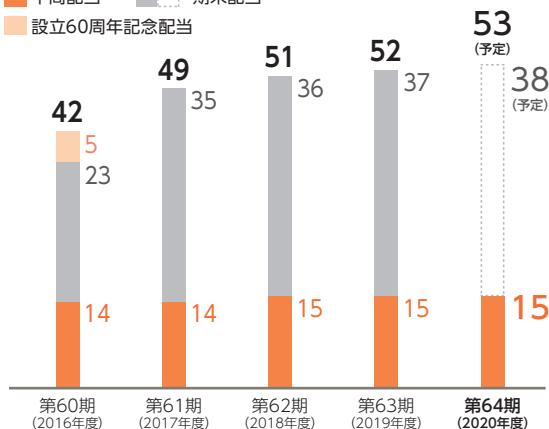


# 株主様インフォメーション

## 配当金のご案内

1株当たりの配当金 (単位:円)

■ 中間配当 ■ 期末配当  
■ 設立60周年記念配当



当社は、「グローバル・フード・カンパニー」の実現に向けた国内外での投資と株主の皆様に対する利益還元バランスを考慮しながら、中期経営計画を実行し収益の拡大を図り、利益配分を安定的に拡大することを目指してまいります。また当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

2020年度 1株当たりの配当金 **53円(予定)**

中間配当金 **15円**

期末配当金 **38円(予定)**

## 株主様へのご優待

**贈呈対象** 毎年9月30日現在の100株以上ご所有の株主様に、当グループ製品の詰め合わせを贈呈させていただきます。

**贈呈時期** 12月中旬頃

### 100～999株をご所有の株主様



1,000円相当の詰め合わせ

### 1,000株以上をご所有の株主様



3,000円相当の詰め合わせ

※画像は詰め合わせ製品例です。



# 会社概要／役員／株式の状況 (2020年9月30日現在)



## 会社概要

商号 亀田製菓株式会社  
 設立 1957年8月26日  
 資本金 19億4,613万円  
 従業員数 1,525名 (連結 3,532名)  
 グループ会社

### 連結子会社 16社

**国内9社** アジカル株式会社 株式会社マイセンファインフード  
 とよす株式会社 新潟輸送株式会社  
 株式会社日新製菓 亀田トランスポート株式会社  
 尾西食品株式会社 株式会社エヌ.エイ.エス  
 株式会社マイセン

**海外7社** 青島亀田食品有限公司(中国)  
 THAI KAMEDA CO., LTD. (タイ)  
 KAMEDA USA, INC. (アメリカ)  
 Mary's Gone Crackers, Inc. (アメリカ)  
 LYLK KAMEDA CO., LTD.(カンボジア)  
 Singha Kameda(Thailand) Co., Ltd.(タイ)  
 Singha Kameda Trading(Thailand) Co., Ltd.(タイ)

### 持分法適用関連会社 3社

**海外** TH FOODS, INC. (アメリカ)  
 THIEN HA KAMEDA, JSC. (ベトナム)  
 Daawat KAMEDA (India) Private Limited (インド)

## 役員

代表取締役会長 CEO 田中 通 泰  
 代表取締役社長 COO 佐藤 勇  
 代表取締役副社長 ジュネジャ・レカ・ラジュ  
 代表取締役副社長 小寺 芳 朗  
 取締役 古泉 直 子  
 取締役 小林 章  
 取締役(独立社外) 関 誠 夫  
 取締役(独立社外) 堤 殷  
 取締役(独立社外) マッケンジー・クラブストン  
 取締役(独立社外) 三宅 峰三郎  
 取締役(独立社外) 伊藤 好 生  
 取締役(独立社外) 金井 孝 行  
 取締役(独立社外) 井植 敏 雅  
 常勤監査役 近藤 三千哉  
 常勤監査役 佐々木 淳  
 監査役(独立社外) 矢澤 健 一  
 監査役(独立社外) 湯原 隆 男

## 株式の状況

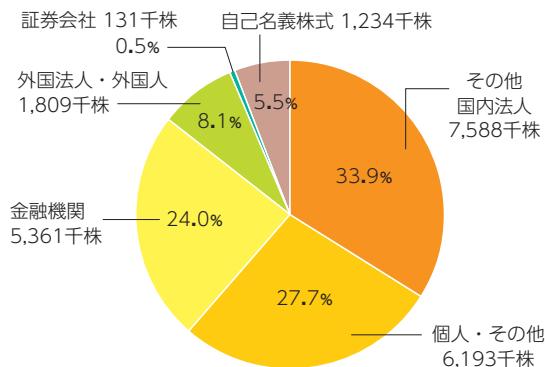
発行可能株式総数 59,251,000株  
 発行済株式の総数 22,318,650株  
 株主数 10,812名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社エイケイ	2,102	9.96
KAMEDA共栄会	1,959	9.29
株式会社第四銀行	1,039	4.92
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	934	4.43
株式会社みずほ銀行	762	3.61
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	754	3.57
亀田製菓従業員持株会	489	2.32
株式会社原信	414	1.96
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	367	1.74
キッコマン株式会社	347	1.64

(注)1.当社は自己株式1,234,665株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
 2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
 3.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は、2020年7月27日付の合併に伴い、商号を株式会社日本カストディ銀行に変更しております。

### 株主分布状況



## 亀田製菓のIRサイトのご案内

IR情報やニュースリリースなど、最新の情報をご覧ください。  
ぜひアクセスしてください。



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
剰余金の 配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
単元株式数	100株
株主名簿 管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告 公告アドレス： <a href="http://www.kamedaseika.co.jp/koukoku/index.html">www.kamedaseika.co.jp/koukoku/index.html</a>
証券コード	2220（東証1部）

	証券口座にて株式を 管理されている株主様	証券会社とのお取引がない 株主様（特別口座の場合）
郵 送 物 送 付 先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
電 話 お 問 い 合 わ せ 先	お取引の証券会社に なります。	フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く） 9:00～17:00
お 取 扱 窓 口		みずほ証券 および みずほ信託銀行
未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 （みずほ証券では取次のみとなります）	

### 特別口座の単元未満株式(1～99株)の買取について

買取請求は、お持ちの単元未満株式(1～99株)を当社へ売却することができる制度です。特別口座で買取請求を行う場合は、買取代金の振込口座などを記入した「単元未満株式買取請求取次依頼書」をご提出いただくこととなりますので、みずほ信託銀行証券代行部(0120-288-324)までお問い合わせください。

## 亀田製菓株式会社

〒950-0198 新潟県新潟市江南区亀田工業団地3丁目1番1号

電話 025-382-2111(代表)

[www.kamedaseika.co.jp](http://www.kamedaseika.co.jp)



この報告書は、環境に配慮し、バジタブリンキを使用しています。